

# 新春のごあいさつ

飯館村議会  
議長

横山 正秀



新年あけましておめでとうございます。

皆様には、ご家族おそろいで2004年の新年をお迎えることとお慶び申し上げます。

昨年の世界情勢を見ますと、米英主導のアフガン戦争が起こり、戦争終結後は、世界各国を巻き込んだの同国への復興支援の要請、さらには日米同盟を大儀としてイラクへの自衛隊派遣となり、専守防衛の日本が、外に歩を一步進めることになるのではと懸念されます。イラク派遣についての自衛隊員の任期は1年といわれておりますが、今は任務を終え無事帰られることを祈ります。

飯館村においては、10年ぶりの大冷害が村を襲い、米を始めとする農作物の不作、価格の不安定による売上の減少となり、村民の皆様の心痛も大きいものとお察し申し上げます。日本の経済不況も、少しは産業種の好況が見えますが、まだ小泉流の改革での成果が見えません。相変わらず大型企業、銀行の倒産、リストラ、雇用賃金・給料の引き下げによる所得の減少が続く中、今年こそは、皆様の生活を安定させ、所得を向上させることが政策の課題と考えます。

明るい話題は、市町村対抗福島県縦断駅競走大会村の部復活優勝、総合8位を成し遂げたことがあります。選手、関係者は、村民に活気を感じさせたことは大変な意義があります。そして、夏まつりなどに代表される文化・人的交

流事業の推進は、村内外から大勢の人達が参加され、「愛」や「までいライフ」等をテーマとした事業は、心の交流として大いに村民に心の豊かさを与えたことと思います。

さて、新しい年を迎え今年を展望する時、市町村合併の可否は、村の将来を変える大きな問題です。

この問題に関しては、今日まで住民参加を唱え、各種勉強会、講演会、懇談会を重ね、議論を深め、昨年12月21日には村の将来を決める住民投票が行われました。結果、賛成・反対の割合が判断の基準になる6対4には達しませんでした。これは、3市町村の合併に向けて進むか否か、行政と議会に一任されたということになるかとも思います。結論はこれからですが、合併と決議された時は、行政と議会、そして住民が一体となって、大きな行政自治の中で周辺地域住民のより豊かな生活が保証されるような地域自治の充実に取り組んで参ります。

合併が否となった場合には、特色のある村づくりをさらに進め、住民の生活優先の政策、特性をいかした産業振興、雇用の拡大、福祉の向上に努めます。ただ、自立となれば、財政はきびしくなり、村民への政策的支援ができず、住民は「ガマン」と「負担増」を自覚せねばなりません。いずれにしても重大な選択でありますので、協議に協議を重ね、結論を出していきたいと考えております。

今、国の遂行する三位一体の政策の中に、地方への税源移譲があります。大きな行政の受け皿の中で、地方自治体の進化を発揮し、住民主体の政策を実現させるべく、議会活動に務めることをお約束すると共に、皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げまして新年のごあいさついたします。